

社会司牧通信



202511

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

●【大至急】署名のお願い『日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名』

広島被爆者団体連絡会より署名のお願いが参りました。(署名用紙は添付したものをご利用ください。広島被爆者団体) 同様の趣旨で、2022年に、「原水協」の署名活動をしてありますが、発信元(日本被爆者団体)が違いますので、前回署名をした人も再度署名が出来ます。また、11月21日に行われる東京で中央大行動にて提出されますので、**8日出の締切・郵送で署名の連絡先である広島被爆者団体連絡会議(〒731-0051 広島市中区大手町 3-13-25 広島平和会館内)**までお願いします。オンライン署名もありますので、紙の署名が手元に届かない場合は、オンライン署名にて、ご協力ください。



* 締切を過ぎてでも署名は継続されますので、

【日本被爆者団体・原水協署名共同提出「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める」中央大行動】

日時: 2025年11月21日(金) 16:30~17:30

場所: 衆議院第二議員会館前

内容: 主催者あいさつ、被爆者の訴え、リレートーク、政党・国会議員あいさつ

★戦後 80 年シンポジウム「宗教の戦争責任」(カトリック京都教区)



日時: 11月22日(土) 13:30~16:30 (申し込み不要)

場所: 河原町カトリック会館大ホール(京都市中京区河原町通三条上ル下丸屋町 423)

主催: カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

問合せ先: TEL075-223-3340 Mail: bukatu@kyoto.catholic.jp

主よ、急いで来てください。破壊があふれた場所に、
今は違う歴史を描き、実現する希望があふれますように。
(戦後アラン・カトリックのシンポジウム「宗教の戦争責任」の巻、2019年 11 月 24 日)

「正義としての日中戦争」
シンポジスト: 三好千恵さん
神学博士。東京大学文学部キリスト教神学専攻。専門は近代日本キリスト教史。著書:『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)、『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)、『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)。

「神と戦争」神学博士の戦争責任
シンポジスト: プライム・アン・ダー・グレイ・トリスタンさん
オーストラリア・メルボルン大学神学博士。専門は神学。著書:『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)、『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)、『神の戦争と戦争の神』(ミネルヴァ文庫)。

コーディネーター: 松浦信子さん
カトリックを信じる女性

戦後 80 年シンポジウム
「宗教の戦争責任」
日時: 11 月 22 日(土) 13:30~16:30 (申し込み不要)
場所: 河原町カトリック会館大ホール(京都市中京区河原町通三条上ル下丸屋町 423)

宗教は、人々に平和をもたらすものでありながら、過去において戦争を肯定し、戦争協力を行ったことがあり、また、その戦争や戦争を助ける行為が、戦争の中心に戦争がなされる限りにおいて、宗教が果たすべき責任は無限のものを負っているといえます。

主催: カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター
TEL075-223-3340(月~木: 9時~17時) EMail: bukatu@kyoto.catholic.jp

★聖書週間 2025 年 11 月 16 日~23 日 | カトリック中央協議会

テーマ: 「あなたがたに平和があるように」(ヨハネ 20:19)

聖書に親しみましょう。平和の使徒推進本部では、引き続き聖書通読・写経キャンペーンを継続中です。通読カードが完了になったら、平和の使徒推進本部までご連絡ください。



●長生炭鉱 潜水調査・遺骨収容プロジェクト | DIVE Explorers(ダイブエクスプローラーズ)



長生炭鉱で潜水調査を担当されている伊佐治佳孝さんの HP です。

潜水調査の詳細が報告されています。8月潜水調査の際にピーヤから潜水した坑内から遺骨が発見され、次なる段階に進んでいます。政府交渉のマスコミも取り上げ、政府の動向にも注目が集まっています。

●長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 - chouseitankou ページ!

第 4 次クラウドファンディング継続中

遺骨収集プロジェクト 2026 2 月に海外のダイバーが集まって潜水調査が行われます。

ひとりでも多くのご遺骨が見つかりよう、そして調査の安全をお祈りください。



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』



(6) あなたの心にそっと触れさせてください

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

瀬川神父に急用ができてしまい、フィリピンのミンダナオで行われる集まりにマコが代わりに行くことになった。旅立つ前の晩に瀬川神父が北海道に行った時の体験を話してくれた。

「マコに前に言ったことがあるけど、僕のエコロジー活動の指標にはトマス・ベリー神父さんっていう人がいるんだよね。多分、その神父さんの思想はフランシスコ教皇の『ラウダート・シ』にも影響を与えているんじゃないかな。彼は、先住民の知恵から学ぶことが大切だと言っているんだよね。それを心に刻みながら、今年の春に札幌に行ったんだけど、旭ヶ丘という札幌の街が見下ろせて、その向こうには雪をかぶった壮大な山脈が連なっているのが見える場所で、案内してくれた方がアイヌの人たちの言葉を教えてくれたんだよね。“イラン・カラプテ”という挨拶の言葉で、それを字義通りに訳せば“あなたの心に触れさせてください”なんだって。なんだか素敵だよな。ああ、大切なものを私たちは、この人たちから学ばなければと思ったんだよね。ミンダナオでも、マコもいろんなこと学んでくるんだろうな。」

ミンダナオ島のブキドゥナンという地域の山奥で行われる会議。瀬川神父と同じ修道会のアイルランド人のペドロ神父さんがこの地域の先住民と共に暮らし、子どもたちのための教育施設を作り、エコロジーセンターでは人々にエコロジーワークショップを提供している。今回の会議は、ペドロ神父さんの活動を学びながら行われた。この神父さんは、バイオーム（生物群系）の専門家でもある。バイオームとは植物、動物、土壌生物の類型を束ねる大分類のことで、つまるところ、この地域でどんな植物を植え、どんな森をつくれば生物多様性を増やす健康な生態系を作ることができるのかということはこの神父さんは熟知しているのだ。ジェysonという先住民の青年が森の中を案内してくれ、歩きながら、ペドロ神父がこの森について、どんな木を育てているのかについて説明してくれた。英語なので、マコは全てのことを理解したわけではないけれど、この森の中に、すでに神秘的で壮大ないのちを育んでいくシステムがあることに感動し、心も体も癒されていくように感じたのだった。



ペドロ神父が、黙想の前に祈りの材料としてシノドスの一つの文章を紹介してくれた。「シノダリティとインテグラル・エコロジーは共に手を取りながら歩んでいくのです」という箇所だ。シノダリティは、全ての人々と共に歩んでいくこと。今までマコが意識しなかった先住民の人々のことを今、マコは思った。「あなたの心にそっと触れさせてください」という挨拶が関係性を築いていくアイヌの人々。寡黙だけれど優しい眼差しで森を案内してくれたジェyson。彼らの知恵から学ぶことがこれからきっとたくさんあるのだ。そして、それは地球の癒しとも繋がっている。この森の中で過ごす時間はまるで森という一つの大きな命がマコの心にそっと触れてくれたかのような時間だった。自分自身が新しい皮袋となり、新しい息吹を入れていくように変容されていく思いがした。シノダリティとインテグラルエコロジーという今教会に流れ込んでくる川から水を汲みながら、この世界をその眼差しで見つめていこう。そのようにマコは心に刻んだのだった。

『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』中井淳 sj 訳（教友社：2000 円＋税）出版されました！
平和の使徒推進本部でも取り扱っています。待降節の個人黙想のテキストにいかがでしょうか。

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net